

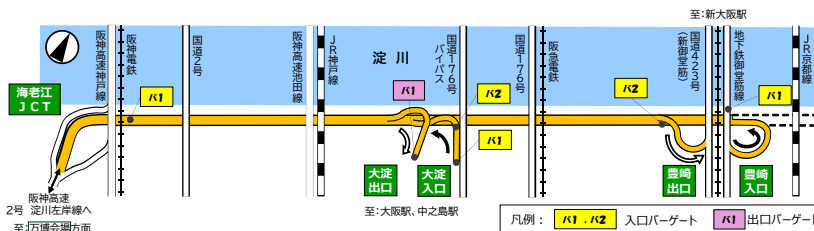
淀川左岸線(2期)事業だより

(第8号)

※ 淀川左岸線(2期)事業の概要は創刊号(第1号)をご覧ください

万博アクセスルート

事業だより創刊号、第5号～第7号でご紹介しましたが、万博来場者のアクセス時間短縮・定時性確保や、市内交通の混雑緩和を目的として、淀川左岸線(2期)の建設中区間をアクセスルートとして活用しています。

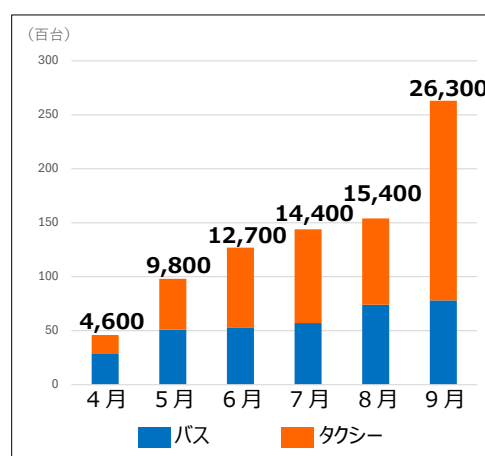


運行台数について

今回は、万博開幕日の4月13日に活用を開始してから、9月30日時点までのアクセスルート利用状況結果をご紹介します。

6か月間のアクセスルート累計運行台数は約**83,200**台、日平均約**400**台以上と大変多くの来場者の皆様にご活用いただきました。

運行台数は毎月増加しており、駆け込み万博で来場者数の増加が予想される10月の残り期間、さらに多くのかたにご活用いただけるのではないかと考えています。



▲月別のアクセスルート運行台数

利用者の感想

X(旧twitter)の一般の方のポストでは

- ・ 淀川左岸線を万博向けに解放したのは英断だったよなあ
- ・ タクシーで万博専用道(淀川左岸線)で西ゲートに行くのが一番快適です。
- ・ 帰りの新大阪シャトルバスを利用したが、建設中の淀川左岸線(2期)を特別走行するため約25分で到着。新幹線で帰る人にとっては最適な選択。(以上、原文ママ)

などと、万博会場とのアクセス手段としてご好評いただく声が多く見受けられます。

現在まで大きなトラブルもなく運行できており、万博閉幕までの残り期間も安全かつ円滑に本路線を通行していただけるよう、引き続き適切な管理・運用を行ってまいります。

アクセスルートの走行状況(令和7年1月時点)をYouTube動画として公開していますので、ぜひご覧ください。



◀アクセスルートに関する情報を
大阪市HPに掲載しています!



▲YouTube動画のキャプチャ

淀川左岸線（２期）工事の変遷（タイムラプス動画の作成）

淀川左岸線（２期）事業は、平成 30（2018）年 10 月から工事（仮堤防工事）に着手し、令和 14（2032）年度の事業完成をめざして、着実に整備を進めています。令和 7（2025）年 10 月上旬現在は、2025 大阪・関西万博のアクセスルートとして活用しており、万博終了まではほとんどの区間で工事を一時休止している状況となっています。

この度、工事の変遷を分かりやすくご覧いただくために、令和 5 年 12 月から令和 7 年 2 月までの施工状況をタイムラプス形式にまとめた動画を作成しました。建設局 YouTube チャンネルにて、ぜひご覧ください。



◀二次元バーコード
はこちら

▼URL はこちら

https://youtu.be/_MizvDPfnE?si=6BHMSEHLHw73rIDZ



▲タイムラプス動画内の一例（大淀出入口部の工事の変遷）

<参考：事業経緯>

1996 年（平成 8 年） 3 月	都市計画決定
2000 年（平成 12 年）	阪神高速道路公団により事業着手
2005 年（平成 17 年） 10 月	道路公団民営化（阪神高速道路株式会社の設立）
2006 年（平成 18 年） 9 月	都市計画事業認可（大阪市の街路事業と阪神高速道路株式会社の有料道路事業との合併施行方式により事業を継続実施）
2016 年（平成 28 年） 11 月	都市計画変更
2018 年（平成 30 年） 10 月	工事着手（仮堤防工事）
2025 年（令和 7 年） 4～10 月	2025 大阪・関西万博のアクセスルートとして活用
2032 年度（令和 14 年度） ※工事等が順調に進捗した場合	事業完成予定

関西道路研究会優秀業績賞・近藤賞の受賞

令和7年7月に、本事業区間を万博会場へのアクセスルートとして活用するという取り組みが、関西道路研究会で「優秀業績賞」「近藤賞」を受賞しました。

関西道路研究会は道路に関する調査研究を行うことなどを目的とする、産官学が参画している団体です。

この研究会では、優れた業績をあげひろく道路事業の進展に功績を残したと認められるものに「優秀業績賞」が、さらにその中でも特に優秀なものには「近藤賞」が与えられることになっています。

今回表彰されました万博会場へのアクセスルートとして活用する取り組みは、これまでから事業日より（創刊号、第5号～第7号）で紹介してきたとおりですが、「新大阪駅、大阪駅発着の駅シャトルバス等の通行に供することにより、万博会場へのアクセス時間の短縮、定時性の確保を実現することができたことが先駆的、先進的な取り組みである」という点を評価いただきました。（参考：関西道路研究会ホームページ <https://kandoken.jp/>）



◀▲賞状

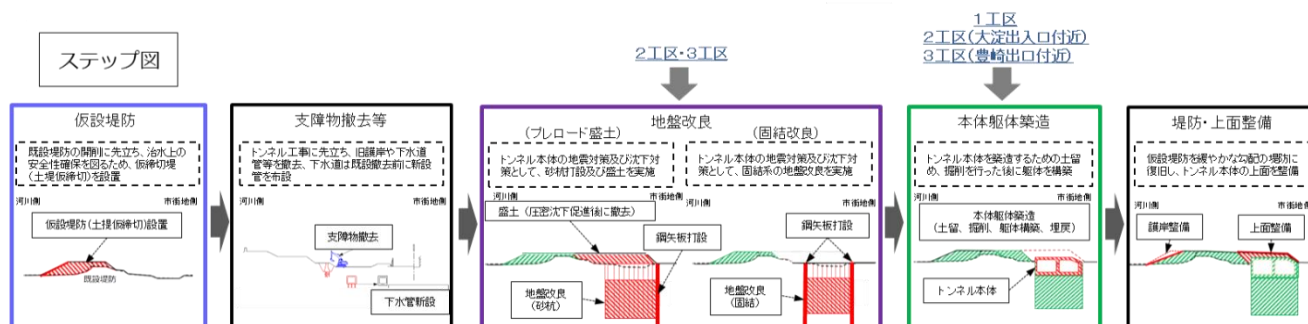


▲表彰式の様子

万博開催中も工事を継続

淀川左岸線（2期）事業は、全長4.4kmの区間を大きく1～3工区の3分割にして下流側の1工区から順次工事を進めてきました。河川の堤防を一部掘削してトンネルを構築することから、治水上の安全性を確保するために、最初の施工ステップとして仮設堤防を川側に構築したうえで、トンネルを構築しています。（ステップ図参照）

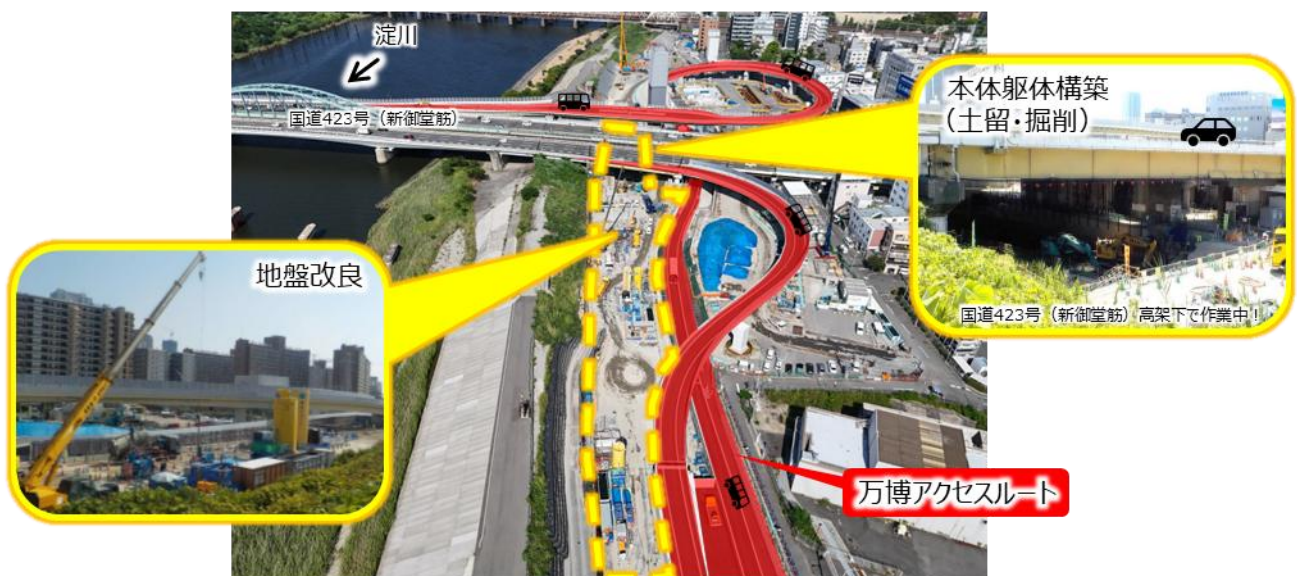
令和7（2025）年9月現在、淀川左岸線（2期）のほとんどの区間を万博アクセスルートとして活用しているため、万博終了までは工事を一時休止している状況です。しかし、万博アクセスルートに影響のない部分では、令和14（2032）年度の事業完成に向けて、継続して工事を実施しています。



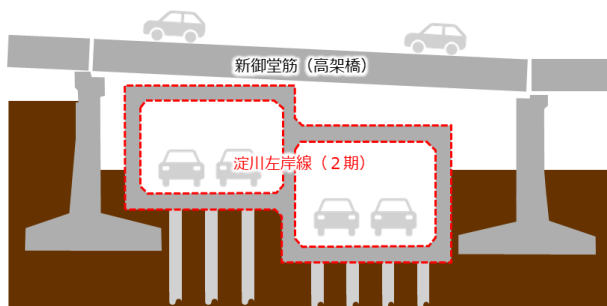


淀川左岸線（２期）事業区間の東端にあたる３工区（約 1.2km）のうち、万博アクセスルートとしての活用に影響のない、豊崎出入口付近の約 150m の区間で工事を継続しています。工事内容は、支障物撤去や地盤改良などで、国道 423 号（新御堂筋）の高架下では本体躯体構築（土留、掘削）を進めています。

万博閉幕後は、令和 14（2032）年度の事業完成に向けて、一時休止していた 1 ～ 3 工区の全区間で工事を再開します。引き続き、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



▲継続して工事を実施している状況（R7.8月）



▲新御堂筋（高架橋）と交差する
淀川左岸線（２期）のトンネル

最新の施工状況は建設局 YouTube でご覧いただけます
ドローン映像（再生リスト）：

https://youtube.com/playlist?list=PLt8-6DQr_zPYlrX618lhmAHj3OYfNRJmL&si=NeAVgcm-EXBa5bnc

▲URL はこちら

お問合せ：

大阪市建設局 淀川左岸線 2 期建設事務所

住所：福島区野田 6-2-16

電話：06-6466-2180

二次元コード
はこちら▼

